

clarion

取扱説明書

DMB165

2DIN CD/MDセンターユニット

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目次

はじめに

主な特長	4
ご使用前に	
安全に正しくお使いいただくために	5
安全上のご注意	6
ご確認事項	8
取扱上のご注意	
本体のお手入れについて	8
ディスプレイについて	8
表示画面について	8
エラー表示について	9
CDまたはMDの演奏について	9
MDIについて	9
CDIについて	9

本機のご操作

■各部の名称とはたらき

本体部	10
操作の概要	12
ディスプレイ表示	14

■基本のご操作

電源を入れる	15
ソースを選ぶ	15
音量を調節する	15
時刻を合わせる	16
タイトルをスクロールさせる	16
表示(メイン/タイトル/時計) を切り換える	17
重低音を増強する (マグナベースEX機能)	18
DSPメニューを選ぶ	18
DSP効果を調整する (EFFECT/DELAY)	19
音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能)	19
Zエンハンサー量を調整する	20
音質を調整する(バス/トレブル)	20
バランス/フェーダーを調整する	21

■ラジオを聴く

ラジオを選ぶ	22
受信バンドを切り換える	22
自動メモリーする (オートストア機能)	22
プリセット選局する	22
プリセットメモリーする	23
自動選局する(シーク選局)	23
手動選局する(マニュアル選局)	23
放送を確かめる (プリセットスキャン)	23
特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)	24

■CD/MDを聴く

ディスクを入れる	24
ディスクを取り出す	25
すでに入っているディスクを聴く	25
曲を選ぶ	26
早送り/早戻しする	26
演奏を止める(一時停止)	26
最初の曲から聴く(トップ機能)	26
いろいろな演奏(スキャン/	

リピート/(ランダム演奏) 27

■グループ編集MDを聴く

グループ機能をON/OFFする 27
 グループを切り換える 28
 いろいろな演奏(グループスキャン/
 グループリピート/
 グループランダム演奏) 28

■タイトルをつける

タイトルを入力する 29
 イージーインプットをする 31
 タイトルを削除する 31

■設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選びかた 32
 スクリーンセーバーを設定する
 (SCRN SVR) 33
 スクリーンセーバーメッセージを
 入力する(MSG INPUT) 33
 電源ON/OFF時のメッセージ表示
 を設定する(MESSAGE) 33
 タイトルスクロール方法を設定する
 (AUTO SCROLL) 33
 ディスプレイ照明を設定する
 (DIMMER) 34
 ディスプレイのコントラストを
 調整する(CONTRAST) 34
 フロントパネル照明を設定する
 (ILLUMINATION) 34
 ボタン操作時のビーブ音
 を設定する(BEEP) ... 34
 チューナーエリアを設定する
 (TUNER AREA) 35
 携帯用オーディオの入力レベルを
 設定する(AUX SENS) 35
 システムをチェックする
 (SYS CHECK) 35

外部機器の操作

携帯用オーディオを聴く(AUX) 36

その他

故障かな?と思われたら 37
 エラー表示について 38
 仕様 39
 アフターサービスについて 裏表紙

主な特長



MDLP

■メッセージインフォメーション機能

- スクリーンセーバーの1つとしてお好みに合わせてディスプレイに表示可能

■MDLP再生機能

- 本機は、2倍モードで160分、4倍モードで320分もの連続再生ができる(80分MD使用時)MDLP再生機能を搭載しています。
- グループ編集MD再生機能

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵

- 最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部

- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30局の放送局名インプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MDプレーヤー部

- CDテキスト表示が可能
- CDテキスト/CD-R/CD-RW再生対応
- 50曲のCDタイトルインプット機能
- リピート/スキャン/ランダム機能

■マグナベースEX機能

- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■Z-エンハンサープラス/DSP機能

- BASS BOOST、IMPACT、EXCITE、の3パターンの音質効果をメモリーし、お好みの音質を即座に設定できます
- 2バンド(LOW/HIGH)のパラメトリックイコライザーにより周波数帯域毎に、お好みの音質に調整することが可能です
- 5種類のベーシックパターンから選べるデジタルサウンドプロセッサー(DSP)機能

■タイトル入力/表示機能

- ラジオの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- MDのディスク名、グループ名または曲名を表示

■携帯用オーディオ入力機能(AUX入力)

- ポータブルMDやDVD等が接続できるAUX入力端子(RCA)を装備

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。







❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意



- 安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意


⚠ 警告


- 運転者は走行中に操作をしない…** 
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機を分解したり、改造しない…** 
事故や火災、感電の原因となります。
- ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…** 
事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
- ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…** 
火災や感電の原因となります。


⚠ 警告


- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する…** 
そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…** 
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠ 注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する… 


車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れない… 


けがの原因となることがあります。
- 本機を車載用以外には使用しない… 

感電やけがの原因となることがあります。
- 電源を切るときは、音量を最小にする… 

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠ 注意

- 音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しない… 

火災の原因となることがあります。
- 本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する… 

専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

● **COMPACT disc** または **COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT** マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

● CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

● CD-ROMは、本機では使用できません。

● **Mini Disc** マークのついたMDをご使用ください。

● 車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。

CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておく、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

● 本体を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行くと、故障の原因となります。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

- 本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

商品イラストについて

本書に描かれている商品イラストは、簡明化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字やパネル面の模様を一部省略しています。

ディスプレイについて

- 本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。
- 直射日光などの関係より、製品に光が反射する恐れがございます。運転の際は十分注意して頂きますようお願い致します。

表示画面について

- 非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

エラー表示について

- 本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「エラー表示について」(38ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDまたはMDの演奏について

- 本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。
- CDまたはMDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。
- 8cmシングルCDまたはMDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

MDについて

■取扱い上のご注意

- 直射日光が当たる場所や、温度・湿度の高い場所には保管しないでください。
- MDのシャッターを手で開けないでください。



- ラベルのはがれかけているMDは使用しないでください。そのままMDプレイヤーに入れると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

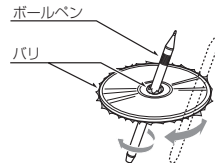
■お手入れ

- カートリッジの表面についたホコリやゴミは、乾いたやわらかい布でふきとってください。

CDについて

■取扱い上のご注意

- CD-R, CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。
- 記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
- 印刷面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

- 汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。
- 従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本体部

DSP



[DSP]ボタン

- DSPモードを選択します。

Z-EHCR+



[Z-EHCR+]ボタン

- 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。またお好みに合わせて調整できるカスタム機能を備えています。

PUSH
POWER/SOURCE
P,CH/GROUP



[SOURCE]ノブ(押す)

- 電源を入れ、各ソースに切り換えます。電源を切るときは押し続けます。(約1秒間)

[SOURCE]ノブ(左右に回す)

- ラジオ時は、プリセット選局をします。
- 各種設定(アジャストモード)時は、設定項目を選択します。
- グループ編集MD再生時にグループを選択します。(グループ機能ON時)

MEMORY



[MEMORY]ボタン

- プリセットメモリーの登録時に使います。



サーチ(◀▶) ボタン

- ラジオ時は選局を、CD/MD時には選曲をします。また、各種の設定や選択に使います。



プレイ/ポーズ(▶/||)ボタン

- CD/MD時は、演奏を一時停止します。また、各種設定の決定をします。

ENTER

AUDIO MODE



[AUDIO MODE]ボタン

- 音質とバランス/フェーダーを調整します。
- 押し続ける(約1秒間)とマグナベースEX機能をON/OFFします。

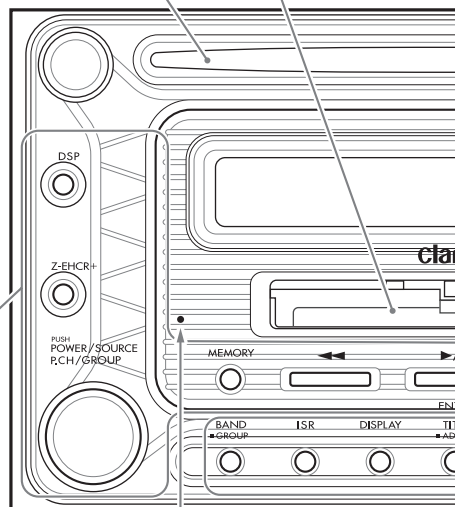
■ M-B EX

MD挿入口

- MDを挿入します。

CD挿入口

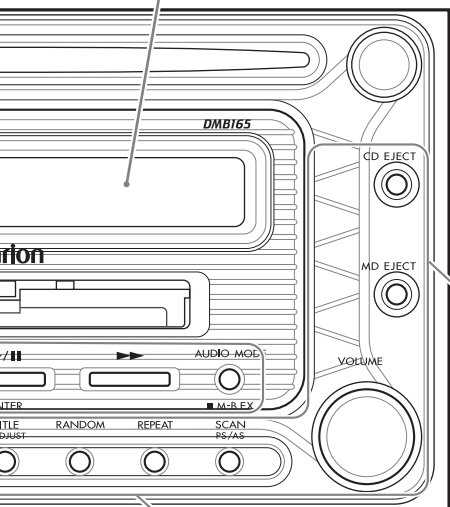
- CDを挿入します。



リセットボタン

ディスプレイ部

- ・選局/演奏などの各種情報を表示します。



RANDOM



[RANDOM]ボタン

- ・CD/MD時に、ランダム演奏をします。

REPEAT



[REPEAT]ボタン

- ・CD/MD時に、繰り返し演奏します。

SCAN

PS/AS



[SCAN]ボタン

- ・CD/MD時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。
- ・ラジオ時に、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。

CD EJECT



[CD EJECT]ボタン

- ・CDをイジェクトします。

MD EJECT



[MD EJECT]ボタン

- ・MDをイジェクトします。

VOLUME



[VOLUME]ノブ (左右に回す)

- ・音量の調整に使います。
- ・各種調整に使います。

BAND
GROUP

[BAND]ボタン

- ・ラジオ時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて自動選局か手動選局に切り換えます。
- ・CD/MD時は、最初の曲を演奏します。(トップ機能)
- ・グループ編集MD再生時、グループ機能ON/OFFの設定をします。

ISR



[ISR]ボタン

- ・再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)

DISPLAY



[DISPLAY]ボタン

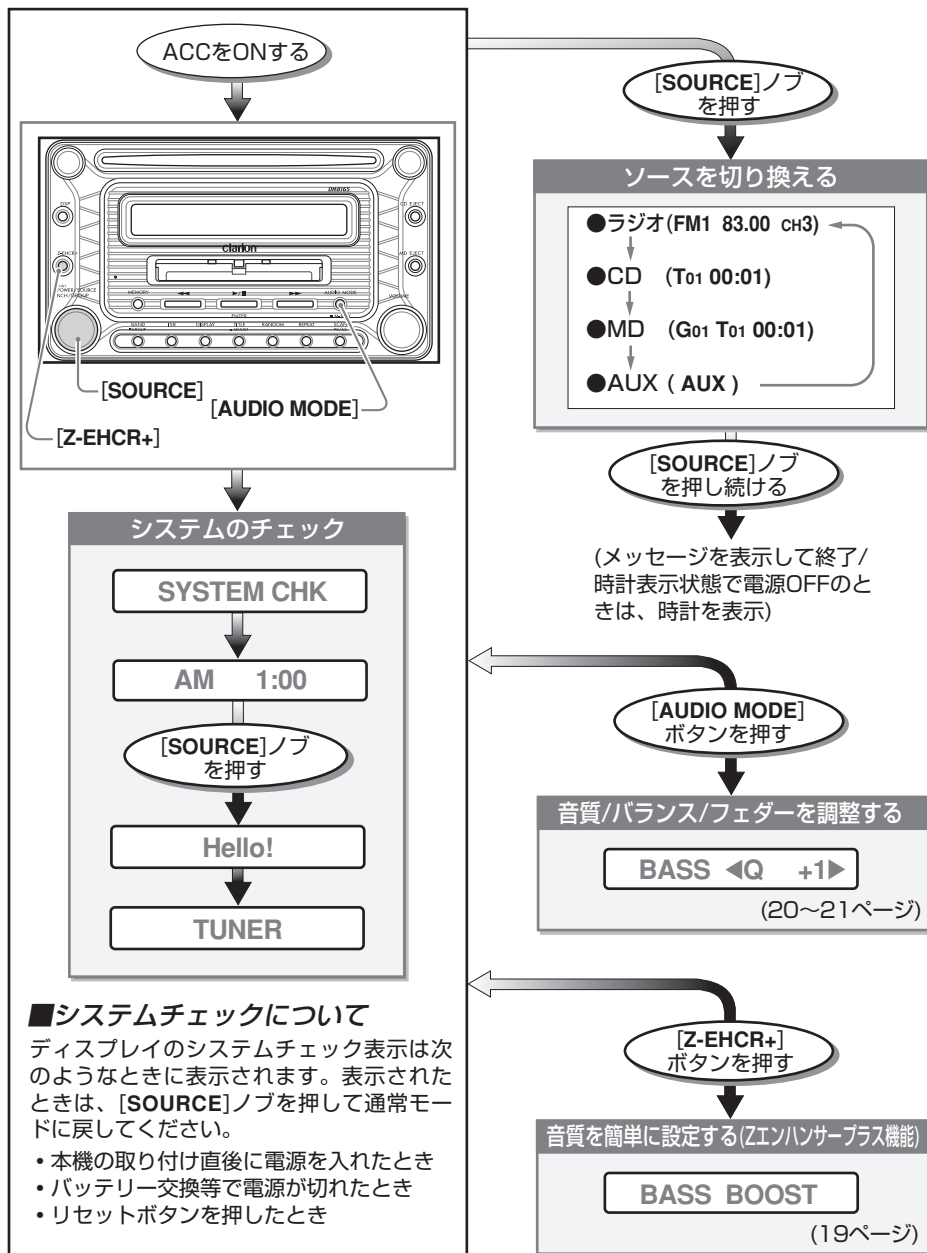
- ・ディスプレイ表示を切り換えます。
- ・押し続ける(約1秒間)とユーザータイトル/ディスクタイトル表示等を切り換えます。

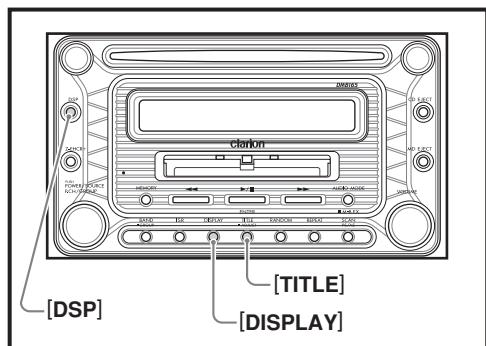
TITLE
ADJUST

[TITLE]ボタン

- ・ラジオ局の名称や、CD時のディスクタイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。
- ・押し続けて各種設定や調整をするときに使います。(アジャストモード)

操作の概要





[TITLE]ボタン
を約1秒間押し続ける

設定を変更する(アジャストモード)

[SOURCE]ノブを回す。またはサーチ(◀, ▶)ボタンを押して調整項目を選び、[VOLUME]ノブを回して調整内容を設定します。

※項目名の末尾に<E>があるときは、プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押して設定内容を表示させます。(32~35ページ)

●スクリーンセーバーの設定(SCRN SVR)

SCRN SVR

- スクリーンセーバーメッセージ入力の設定 (MSG INPUT)
- 電源ON/OFF時のメッセージ表示の設定 (MESSAGE)
- タイトルスクロール方法の設定 (AUTO SCROLL)
- ディマーレベルの設定 (DIMMER)
- ディスプレイのコントラスト調整 (CONTRAST)
- フロントパネル照明の設定 (ILLUMINATION)
- ビーブ音の設定 (BEEP)
- チューナーエリアの設定 (TUNER AREA)
- 携帯用オーディオの入力レベルを設定 (AUX SENS)
- 時計の設定 (CLOCK) (16ページ)
- システムをチェックする (SYS CHECK)

[DISPLAY]
ボタンを押す

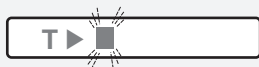
表示を切り換える

- メイン表示 FM1 83.0 CH3
- タイトル表示 NACK 5
- 時計表示 PM 8:06 (17ページ)
- スクリーンセーバー
スクリーンセーバー機能が「ON」または「MESSAGE」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を30秒間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。(詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(33ページ)をご覧ください。

(ラジオ/CD時)

タイトル表示のときに、
[TITLE]ボタンを押す

タイトルを入力する



(29~30ページ)

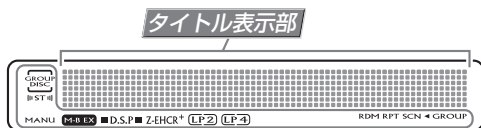
[DSP]ボタン
を押す

DSPメニューを選ぶ

STADIUM

(18ページ)

ディスプレイ表示



タイトル表示部

- ソース表示(切換時に2秒間表示します。)

TUNER : ラジオ
CD : CD
MD : MD
AUX : AUX

- 演奏状態表示例

FM1 83.0 ch3 : ラジオ(受信バンド、周波数とプリセット番号)

To1 00:01 : CD等のディスク演奏時(演奏トラックと演奏時間)

- タイトル表示選択時に表示

タイトル表示選択時は、ディスクに設定されているタイトルを表示します。未設定のときは次のタイトル名を表示します。

NO TITLE : ユーザータイトル未

NO TITLE : ディスクタイトル未

NO TITLE : トラックタイトル未

NO TITLE : グループタイトル未

ラジオのときはユーザータイトルを表示します。設定がないときには「NO TITLE」を表示します。

- 演奏選択時に約2秒間表示

(CD再生時)

TRACK SCAN : スキャン演奏

TRACK REPEAT : リピート演奏

TRACK RANDOM : ランダム演奏

(グループ編集MD再生時)

GROUP SCAN : グループスキャン演奏

GROUP REPEAT : グループリピート演奏

GROUP RANDOM : グループランダム演奏

- その他の表示

NO DISC : ディスクがないとき

ERROR 2 : エラー発生時

PAUSE : 演奏一時停止時

- GROUP DISC** : グループ編集ディスク演奏時に点灯
- ST** : ラジオのステレオ受信時に点灯
- MANU** : ラジオのマニュアル選局時に点灯
- M-B EX** : マグナベース機能ON時に点灯
- DSP** : DSP機能ON時に点灯
- Z-EHCR*** : Z-エンハンサーON時に点灯
- LP2** : LP2モードMD演奏時に点灯
- LP4** : LP4モードMD演奏時に点灯
- SCN** : スキャン演奏時に点灯
- RPT** : リピート演奏時に点灯
- RDM** : ランダム演奏時に点灯
- ◀GROUP** : グループスキャン/グループリピート/グループランダム演奏時に点灯
- GROUP** : グループ機能ON時に点灯

● タイトル表示

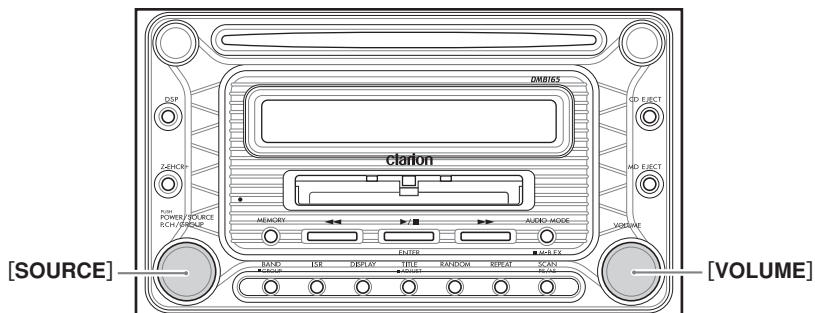
「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(17ページ)をご覧ください。

● スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能で設定されたパターンを表示します。

詳しくは、「スクリーンセーバーを設定する」(33ページ)をご覧ください。

基本の操作



電源を入れる

システムチェックについて…

本機は、電源を入れるとディスプレイに「SYSTEM CHK」が表示され、本機の内
部でシステムチェックが始まります。シ
ステムチェックが終わると、電源OFFの
状態になりますので、もう一度
[SOURCE]ノブを押してください。(詳
しくは「システムのチェック」(12ペー
ジ)をご覧ください。)

1 [SOURCE]ノブを押す

→前回の操作終了時のソースが表示されま
す。

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操
作は、エンジンをかけた状態で行って
ください。

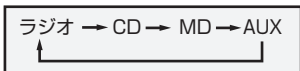
■ 電源を切るときは…

[SOURCE]ノブを押し続けて(約1秒間)
ください。

ソースを選ぶ

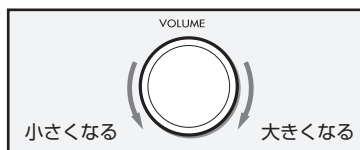
1 [SOURCE]ノブを押す

→押すたびに、次のように切り換わりま
す。



音量を調節する

1 [VOLUME]ノブを回す



→右に回すと音量が大きくなり、左に回す
と小さくなります。

⚠ 注意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量
にしてください。

ご注意

CDで「USER TITLE」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。このときタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える

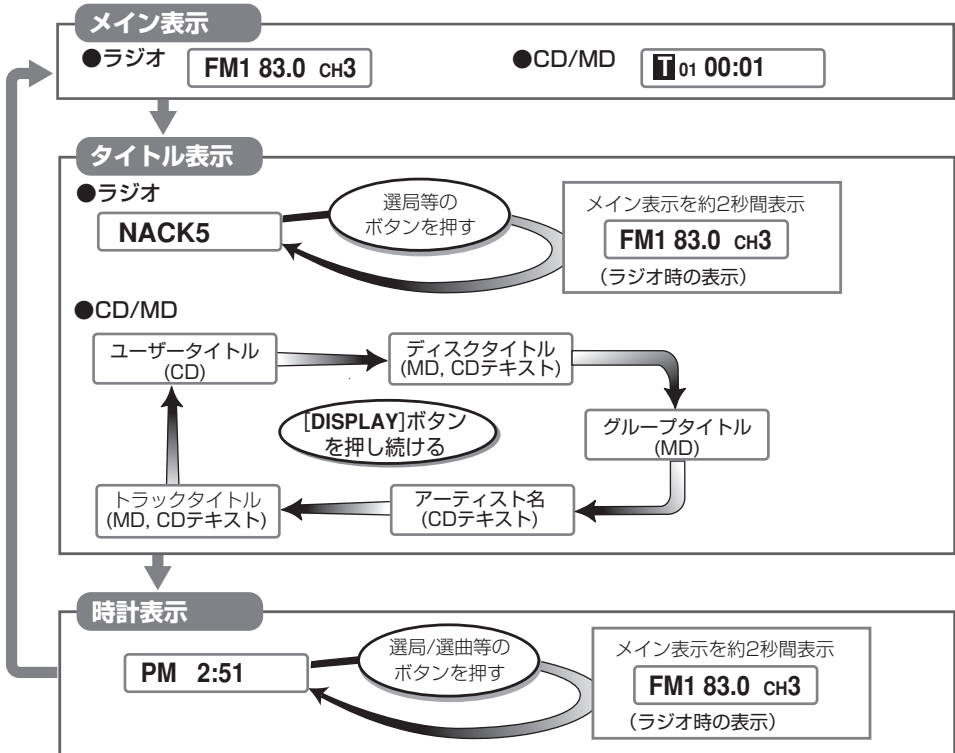
1 [DISPLAY]ボタンを押して、表示を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

■電源OFF時に時計表示状態とするには…

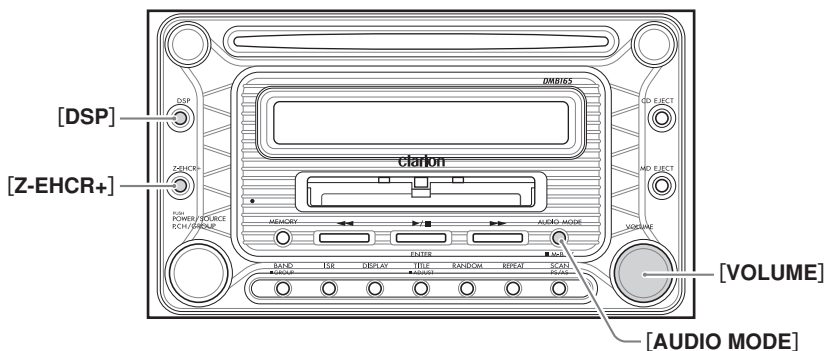
[DISPLAY]ボタンを押して時計表示にしてから、本機の電源をOFFしてください。

本機の操作



スクリーンセーバー

スクリーンセーバー機能が「ON」または「MESSAGE」に設定されているときに、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは「スクリーンセーバーを設定する」(33ページ)をご覧ください。



重低音を増強する (マグナベースEX機能)

小音量でお聴きになるときは、低音を強調するマグナベースEXの自然な音質をおすすめします。

1 [AUDIO MODE]ボタンを押し続ける (約1秒間)

→ONになると、「M-B EX」が点灯します。

■ マグナベースEXをOFFにするには…

もう一度、[AUDIO MODE]ボタンを押し続けてください(約1秒間)。

DSPメニューを選ぶ

DSP(デジタルサウンドプロセッサー)は、デジタル信号の処理により、音を劣化させずにサウンド効果を車室内でシミュレーションしてお楽しみいただく機能です。

※初期設定は「STADIUM」です。

1 [DSP]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わりま



DSP効果を調整する (EFFECT/DELAY)

この機能はDSP機能が”STADIUM”、”HALL”、”CLUB”、”CHURCH”あるいは”L-ROOM”のときに調整できます。

■エフェクトとは…

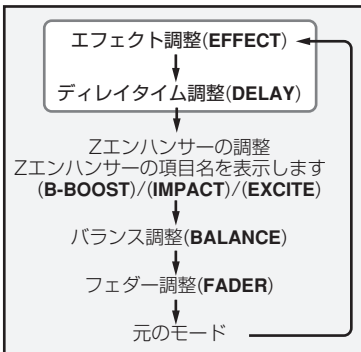
エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことで、DSP機能「ON」のときに反射音の効果量を変えられます。

■ディレイタイムとは…

直接音と反射音の時間差のことです。本機はこの時間差を調整することができます。

1 [AUDIO MODE]ボタンを押して、調整項目を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わりま



2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

●エフェクトの調整

調整量は、0～70%です。

●ディレイタイムの調整

調整量は、10～200%です。

3 [AUDIO MODE]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

音質を簡単に設定する (Zエンハンサープラス機能)

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。

- **BASS BOOST**：低音を強調
 - **IMPACT**：低音と高音を強調
 - **EXCITE**：低音と高音を更に強調
- ※初期設定は「Z-EHCR+ OFF」です。

1 [Z-EHCR+]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わりま



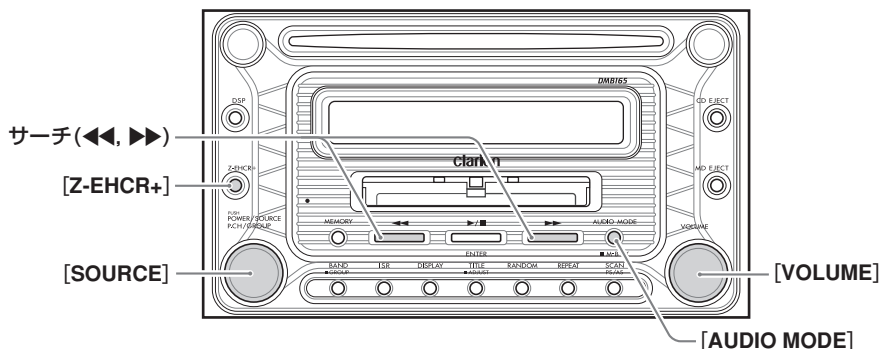
■ユーザーカスタムについて… (USER CUSTOM)

ユーザーカスタムは、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

「音質を調整する(バス/トレブル)」(20ページ)の手順で、お好みの音質に調整してください。

■Zエンハンサーオフについて… (Z-EHCR+ OFF)

Zエンハンサーオフは、原音のまま、お聴きになりたいときにご使用ください。

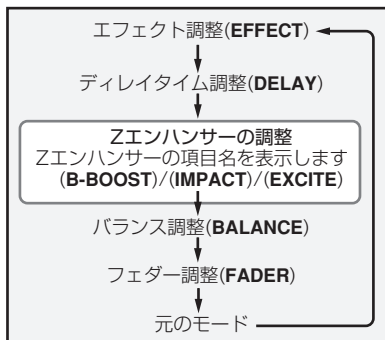


Zエンハンサー量を調整する

Zエンハンサー機能をBASS BOOST (バスブースト)、IMPACT(インパクト) またはEXCITE(エキサイト)の設定したときに調整できます。

- 1 [AUDIO MODE]ボタンを押して、Zエンハンサー調整項目(B-BOOST / IMPACT / EXCITE)を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わりま
す。



- 2 [VOLUME]ノブを回して、調整する

・調整範囲は、-3~+3です。

- 3 [AUDIO MODE]ボタンを数回押し
て、元のモードに戻る

音質を調整する(バス/トレブル)

この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

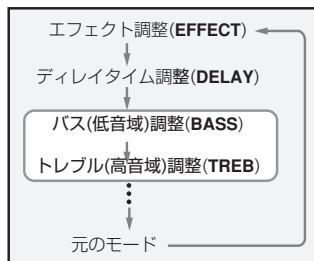
ご注意

この機能は、Zエンハンサー機能がユーザーカスタム(USER CUSTOM)のときに設定できます。

- 1 [Z-EHCR+]ボタンを押して、「USER CUSTOM」を選ぶ

- 2 [AUDIO MODE]ボタンを押して、調整項目を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わりま
す。



- 3 [VOLUME]ノブを回して、「GAIN」(ゲ
イン)を調整する

・BASS(低音域)/TREB(高音域)調整範囲は、-6~+6です。

4 [SOURCE]ノブを回す

またはサーチ(◀▶)ボタンを押して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を選ぶ

5 [VOLUME]ノブを回して、「FREQ」(周波数)または「Q」(カーブ)を調整する

- BASS(低音域)
 - 周波数(FREQ) : 60Hz、100Hz、200Hz
 - Qカーブ(Q) : 1、1.25、1.5、2
- TREB(高音域)
 - 周波数(FREQ) : 10KHz、15kHz
 - Qカーブ(Q) : 1.4(固定、調整できません)

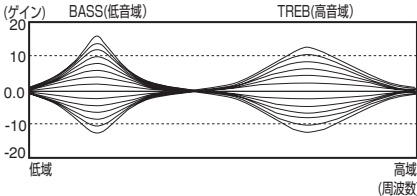
6 [AUDIO MODE]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

■カスタムの設定値を初期値に戻すには…

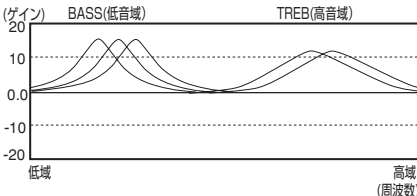
[Z-EHCR+]ボタンを1秒以上押してください。
 “Z-EHCR+ FLAT”の表示をして、バス/トレブルの設定値が初期値に戻ります。

※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。

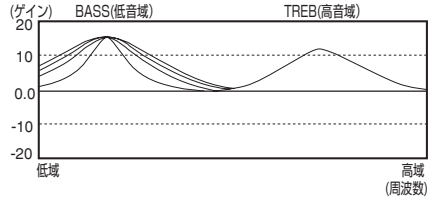
●ゲイン調整時の特性



●周波数変更時の特性



●Qカーブ変更時の特性

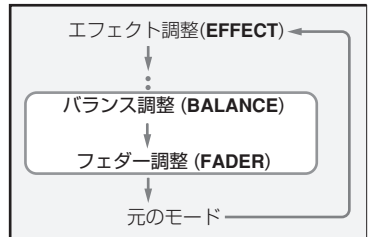


※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

バランス/フェダーを調整する

1 [AUDIO MODE]ボタンを押して、「BALANCE」または「FADER」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。



2 [VOLUME]ノブを回して調整する

●左右のスピーカー(バランス)の調整

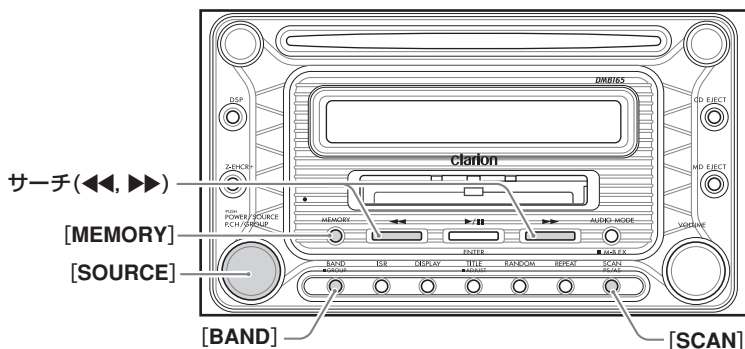
右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。
 ・調整範囲は、L13~R13です。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整

右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。
 ・調整範囲は、F12~R12です。

3 [AUDIO MODE]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

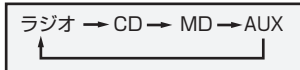
ラジオを聴く



ラジオを選ぶ

1 [SOURCE]ノブを押す

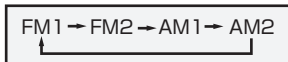
→押すたびに、次のように切り換わります。



受信バンドを切り換える

1 [BAND]ボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

→押すたびに、バンドが切り換わります。



自動メモリーする(オートストア機能)

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 [SCAN]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1~6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 [SOURCE]ノブを回して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

2 [MEMORY]ボタンを押す

→ディスプレイのチャンネル表示が点滅します。

3 [SOURCE]ノブを回して、登録したいプリセットメモリ番号を選ぶ

4 [MEMORY]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→登録されると、ディスプレイのチャンネル表示が点滅から点灯に変わります。

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、[BAND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、[BAND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に受信します。

1 [SCAN]ボタンを押す

→タイトル表示部に「PRESET SCAN」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- プリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局とはばして、次の放送局を受信します。

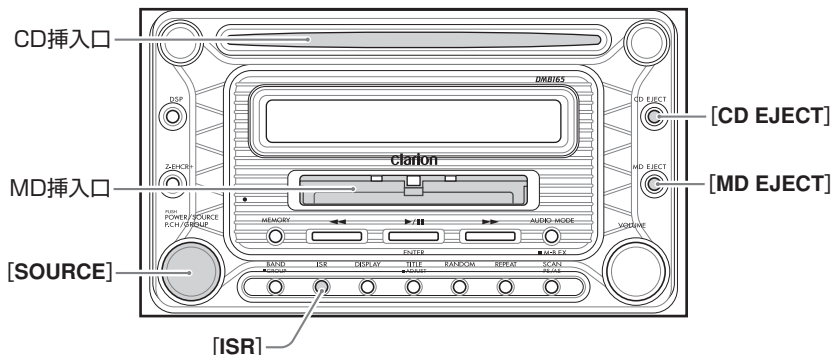
ご注意

[SCAN]ボタンを押し続ける(約2秒間)とオートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、[SCAN]ボタンを押してください。

→[SCAN]ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。



特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能は、どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています。

1 [ISR]ボタンを押す

→初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数「**ISR 1620**」を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

■元のソースに戻すには…

もう一度、[ISR]ボタンを押してください。

■ISRメモリーに登録するには…

登録したい放送局を選局し[ISR]ボタンを押し続けて(約2秒間)ください。

→ISRメモリーに登録されます。

ディスクを入れる

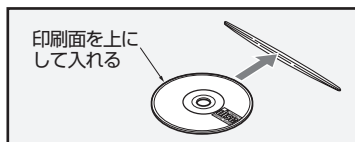
本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればCDまたはMDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠注意


- CD/MD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

■CDの場合

1 CD挿入口にCDを入れる



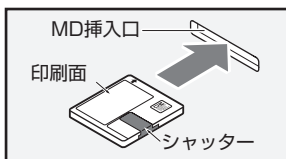
→CDを入れると、演奏が始まります。

-  マークのないCDやCD-ROMは、使用できません。
- CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、使用できない場合があります。
- CDは、印刷されている面を上にして入れてください。

- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- ブランクディスク(未録音 CD-R)を入れた場合、ディスクをイジェクトします。
- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。


■MDの場合

1 MD挿入口にMDを入れる



→MDを入れると、グループ機能有無を確認した後、演奏が始まります。

グループ機能有無の確認中は「**GROUP READ**」と表示されます。

- 本機は  マーク表示の無いMDは使用できません。
- MDは、印刷面を上にして、シャッター板を右側に入れてください。
- すでにMDが入っている場合は、入れられません。無理に入れないでください。
- ブランクディスク(未録音 MD)を入れた場合、MDをイジェクトします。

ディスクを取り出す

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDまたはMDを取り出すことができます。

■CDの場合

1 [CD EJECT]ボタンを押す

→CDがイジェクトされます。

- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード機能)
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出しててください。

ご注意

オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

■MDの場合

1 [MD EJECT]ボタンを押す

→MDがイジェクトされます。

- イジェクトされたMDは、必ず取り出しててください。

すでに入っているディスクを聴く

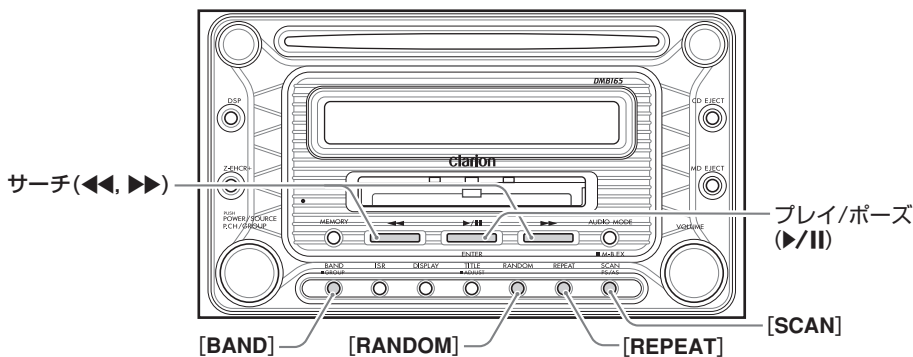
1 [SOURCE]ノブを押して、CDまたはMDを選ぶ

→CDまたはMDが選ばれると、自動的に演奏が始まります。



■ グループ編集MDを聴くには…

本機のグループ機能を「ON」にすることにより、グループを優先して聴くことができます。基本的な操作については、「CD/MDを聴く」と同様です。また、グループ機能に関連した操作については、「グループ編集MDを聴く」(27ページ)をご覧ください。



曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの [▶▶]を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの [◀◀]を2回押す

→ [▶▶]を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されません。

[◀◀]を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの [◀◀]を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの [▶▶]を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの [◀◀]を押し続ける

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押す

→タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには...
もう一度、プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

演奏しているディスクの最初の曲から演奏をはじめます。

1 [BAND]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

ご注意

グループ機能ONでグループ編集MDを再生している場合は、演奏しているグループの最初の曲から演奏をはじめます。

いろいろな演奏(スキャン/リピート/ランダム演奏)

■ 聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

ディスクに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [SCAN]ボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■ 1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 [REPEAT]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■ ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ディスクに収録されている曲を順不同に演奏します。

1 [RANDOM]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ 演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

次の操作はMDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MDを聴く」(26~27ページをご覧ください)。

グループ機能をON/OFFする

本機はグループ機能で編集されたMD再生時に、グループ機能を利用してスキャン/ランダム/リピート演奏等を行うことができます。

グループ機能のON/OFFは、グループ編集MDのときのみ行えます。

※初期設定は「**GROUP ON**」です。

1 グループ編集MDを入れる

2 [BAND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→[**BAND**]ボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

グループ機能を「**ON**」に設定すると、ディスプレイに「**GROUP ON**」を表示します。

グループ編集MDを演奏する

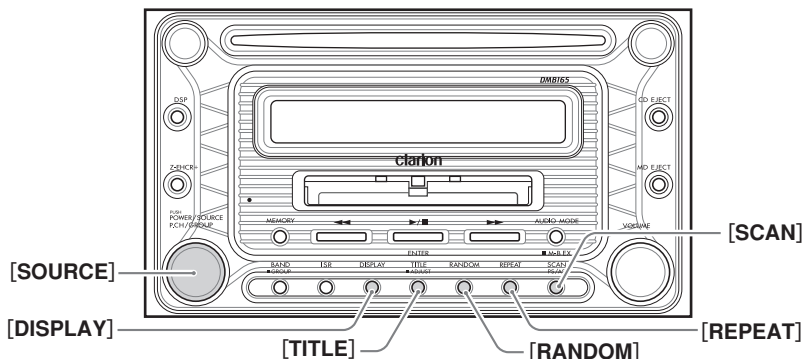
グループ機能が設定されている場合には、ディスク情報の読み込み後、演奏を始めます。

■ グループ機能「ON」のとき

グループ順に演奏します。グループ化されていない曲(トラック)は最後にまとめて演奏します。

■ グループ機能「OFF」のとき

通常のMDと同様に、最初の曲から演奏します。



グループを切り換える

1 [SOURCE]ノブを回す

→左に回したときは前のグループに、右に回したときは次のグループに移ります。

いろいろな演奏(グループスキャン/ グループリピート/グループランダム演奏)

■聴きたいグループを探す (グループスキャン演奏)

グループの最初の曲を10秒間ずつ演奏します。

1 [SCAN]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀GROUP」と「SCN」が点灯し、演奏している曲の次のグループからスキャン演奏します。

- グループ化されていない曲は、一つのグループとしてまとめて扱われ、全てのグループの先頭曲が演奏された後に、その一番最初の曲がスキャン演奏されます。
- [SCAN]ボタンを押したときは、通常のスキャン演奏になります。

■1つのグループを繰り返し聴く (グループリピート演奏)

演奏中のグループ内の曲を繰り返し演奏します。

1 [REPEAT]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀GROUP」と「RPT」が点灯し、グループ内の曲をリピート演奏します。

- [REPEAT]ボタンを押したときは、通常のリピート演奏になります。

■全グループの演奏をランダムに聴く (グループランダム演奏)

MDLPIに収録されている全ての曲を順不同に演奏します。

1 [RANDOM]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「◀GROUP」と「RDM」が点灯し、グループランダム演奏します。

■演奏中のグループ内の曲をランダム演奏するには…

[RANDOM]ボタンを押してください。

- グループ機能がOFFのときは、通常のランダム演奏となります。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの表示が消えて、通常の演奏に戻ります。

タイトルを入力する

ラジオの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、CD時)

入力できるタイトル数は次の通りです。

- ラジオ : 30タイトル
- CD : 50タイトル

1 ラジオモードの場合は、チューナーエリアを「**USER TITLE**」に設定する

- ラジオの受信エリアを「**USER TITLE**」に切り換えるには、「チューナーエリアを設定する」(35ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ局を受信する、またはCDを演奏する

3 **[DISPLAY]**ボタンを押して、タイトル表示にする

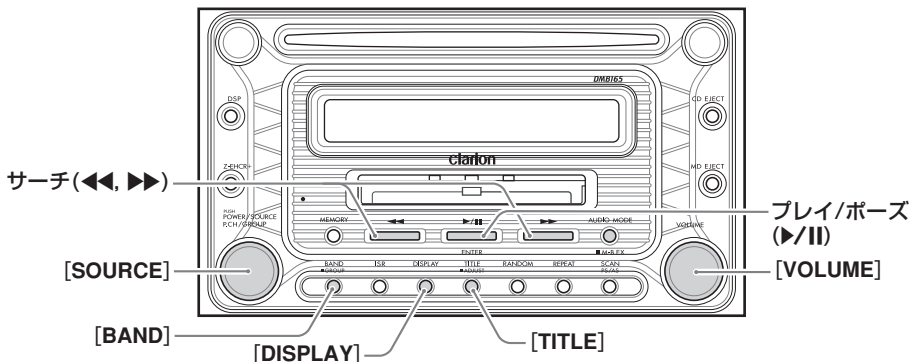
- CDの場合は、**[DISPLAY]**ボタンを押し続けて(約1秒間)ユーザータイトルに切り換えてください。(17ページ参照)

4 **[TITLE]**ボタンを押す

→タイトル表示部に「**T ▶**」が表示され、タイトル入力モードになります。

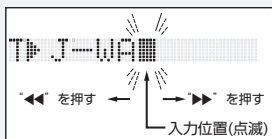
※次ページの手順5、6、7を繰り返して、タイトルを入力します。

次ページに続く➡



5 [SOURCE]ノブを回す
またはサーチ(◀▶)ボタンを押して、入力位置を決める

→点滅している文字位置が左右に移動します。



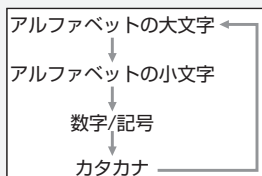
・入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 [DISPLAY]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→押すたびに、次のように文字の種類が切り換わります。



入力文字種類

- ・アルファベット大文字
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U
V W X Y Z
- ・アルファベット小文字
a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w
x y z
- ・数字/記号
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? * \$
% & + - / = () { } " #
- ・カタカナ
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテト
ナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリ
ルレロワランアイウエオツヤユヨ・ー「」

7 [VOLUME]ノブを回して、入力文字を決める

8 タイトル入力を終わったら、プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「TITLE MEMORY」を表示し、タイトルがメモリーされます。

■ タイトルメモリーがいっぱいになると…

- ・ラジオ局タイトルの場合
プリセットチャンネルとISRにメモリーされていないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。
- ・ディスクタイトルの場合
演奏回数の少ないタイトルを自動的に消去して新しいタイトルをメモリーします。

イージーインプットをする

本機は、チューナーエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「USER TITLE」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

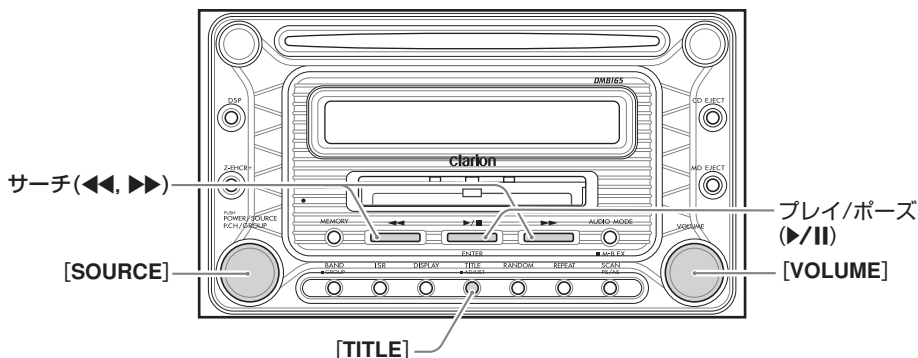
イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

- 1 [SOURCE]ノブを押して、ラジオを選ぶ
- 2 [TITLE]ボタンを押し続けて(約1秒間)、アジャストモードにする
- 3 [SOURCE]ノブを回す
またはサーチ(◀◀, ▶▶)ボタンを押して、「TUNER AREA **E**」を選ぶ
- 4 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押す
- 5 [VOLUME]ノブを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ
 - 受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する」(35ページ)をご覧ください。
- 6 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押し続ける(約2秒間)
- 7 [TITLE]ボタンを押して、元のモードに戻る

タイトルを削除する

- 1 [SOURCE]ノブを押して、ラジオまたはCDを選ぶ
- 2 削除したいタイトルのラジオ局を受信するまたはCDを演奏する
- 3 [DISPLAY]ボタンを押して、タイトル表示にする
- 4 [TITLE]ボタンを押す
→タイトル表示部に「T ▶」が表示され、タイトル入力表示になります。
- 5 [BAND]ボタンを押す
→タイトルが消えます。
- 6 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押し続ける(約2秒間)
→タイトルが削除されます。

設定を変更する(アジャストモード)



設定項目の選びかた

1 [TITLE] ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目「**SCRN SVR** **E**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 [SOURCE] ノブを回す

またはサーチ(◀▶)ボタンを押して、設定項目を選ぶ

- 設定項目は、右図のように切り換わります。

3 プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して、調整内容を表示させ、[VOLUME] ノブを回して設定する

- 末尾に**E**が表示されている項目名は、プレイ/ポーズ(▶||)ボタンを押して、設定内容表示に切り換えます。
- 末尾に**E**の表示がない項目名は、項目を選択してから約2秒後に、設定内容表示に切り換わります。

■元のモードに戻るには…

設定終了後に、[TITLE]ボタンを押してください。



次項の設定項目では、項目の選びかた、終わりかたを省略してしま
す。よく理解して次へお進みください。

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

スクリーンセーバーは、この機能を「ON」または「MESSAGE」に設定した場合、タイトルまたは時刻を一定時間表示した後、ディスプレイにスクリーンセーバーパターンを表示します。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 設定項目の選びかたの手順で、「SCRN SVR」を選ぶ
- 2 プレイ/ポーズ(▶/II)ボタンを押す
- 3 [VOLUME]ノブを回して、「MESSAGE」、「ON」または「OFF」を選ぶ
 - MESSAGE : 次項で入力したメッセージを表示します。
 - ON : パターンを表示します。
 - OFF : 表示しません。

スクリーンセーバーメッセージを入力する(MSG INPUT)

本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができ、入力したメッセージをスクリーンセーバーとして表示することができます。

- 1 設定項目の選びかたの手順で、「MSG INPUT」を選ぶ
- 2 プレイ/ポーズ(▶/II)ボタンを押す
→メッセージ入力モードになります。
- 3 「タイトルを入力する」(30ページ)の手順5~7を繰り返して、メッセージを入力する
- 4 プレイ/ポーズ(▶/II)ボタンを押し続ける(約2秒間)
→タイトル表示部に「MSG MEMORY」を表示してメモリーされます。
プレイ/ポーズ(▶/II)ボタンを押したときは、メッセージ入力モードを終了し、元の状態に戻ります。

電源ON/OFF時のメッセージ表示を設定する(MESSAGE)

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。

お好みに合わせて、これらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

※初期設定は、「ON」です。

設定をONにすると電源を入れたときに「Hello!」電源を切ったときに「Good-bye!」を表示します。

- 1 設定項目の選びかたの手順で、「MESSAGE」を選ぶ
→「MESSAGE」を表示した後、「ON」等を表示します。
- 2 [VOLUME]ノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ
 - ON : メッセージを表示します。
 - OFF : 表示しません。

タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCROLL)

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。

※初期設定は、「ON」です。

- 1 設定項目の選びかたの手順で、「AUTO SCROLL」を選ぶ
→「AUTO SCROLL」を表示した後、「ON」等を表示します。
- 2 [VOLUME]ノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ
 - ON : 自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
 - OFF : [TITLE]ボタンを押すと1回スクロールします。

ディスプレイ照明を設定する(DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、照明を減光させることができます。

フロントパネルの照明は、3段階に切り換わります。ディスプレイの照明は、「OFF」以外で減光します。

※初期設定は、「HIGH」です。

1 設定項目の選びかたの手順で、「DIMMER」を選ぶ

→「DIMMER」を表示した後、「HIGH」等を表示します。

2 [VOLUME]ノブを回して、「HIGH」、「MID」、「LOW」または「OFF」を選ぶ

- **HIGH** : OFF時の約4/5の明るさ
- **MID** : OFF時の約1/2の明るさ
- **LOW** : OFF時の約1/5の明るさ
- **OFF** : 減光しません

ディスプレイのコントラストを調整する(CONTRAST)

ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

※初期設定は、「8」です。

1 設定項目の選びかたの手順で、「CONTRAST」を選ぶ

→「CONTRAST」を表示した後、調整値を表示します。

2 [VOLUME]ノブを回して、コントラストを調整する

→コントラストの調整範囲は、「1」～「16」の範囲です。ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。

フロントパネル照明を設定する(ILLUMINATION)

ACCまたは電源OFF時に、車両イルミを点灯した場合、フロントパネル照明を点灯/不点灯に設定することができます。

※初期設定は、「ON」です。

夜間、電源をOFFにして、フロントパネル照明がまぶしいときには、「OFF」に設定してください。

1 設定項目の選びかたの手順で、「ILLUMINATION」を選ぶ

→「ILLUMINATION」を表示した後、「ON」等を表示します。

2 [VOLUME]ノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

- **ON** : 照明を点灯します
- **OFF** : 点灯しません

ボタン操作時のビーブ音を設定する(BEEP)

操作時になる「ピッ」という音をビーブ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

※初期設定は、「ON」です。

1 設定項目の選びかたの手順で、「BEEP」を選ぶ

→「BEEP」を表示した後、「ON」等を表示します。

2 [VOLUME]ノブを回して、「ON」または「OFF」を選ぶ

- **ON** : 操作時にビーブ音が鳴ります
- **OFF** : 鳴りません

チューナーエリアを設定する (TUNER AREA)

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

※ 初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。

オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。

また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「**タイトルを入力する**」(29ページ)をご覧ください。

イーザーインプット機能について...
チューナーエリアを選択してから、プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押し続けると(約2秒間)、選択したチューナーエリアの放送局名が「**USER TITLE**」メモリーへ登録されます。

1 設定項目の選びかたの手順で、「**TUNER AREA**」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押す

3 [VOLUME]ノブを回して、チューナーエリアを選ぶ

→回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の11種類から選ぶことができます。

●チューナーエリア一覧

- | | |
|-----------------------------|------------|
| • USER TITLE(タイトル入力された放送局名) | |
| • ホッカイドウ(北海道) | • トウホク(東北) |
| • コウイキ カントウ(広域関東) | |
| • コウイキ トウカイ(広域東海) | |
| • ホクリク(北陸) | • キンキ(近畿) |
| • チュウゴク(中国) | • シコク(四国) |
| • キュウシュウ(九州) | • オキナワ(沖縄) |

4 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押して、設定項目表示に戻る

携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENS)

本機に接続された市販のヘッドホンステレオの入力レベルを設定します。

※初期設定は、「**MID**」です。

1 設定項目の選びかたの手順で、「**AUX SENS**」を選ぶ

→「**AUX SENS**」を表示した後、「**AUX MID**」等を表示します。

2 [VOLUME]ノブを回して、「**HIGH**」、「**MID**」または「**LOW**」を選ぶ

- **HIGH** : 入力レベルが大きいとき
- **MID** : 通常の入力レベルのとき
- **LOW** : 入力レベルが小さいとき

システムをチェックする (SYS CHECK)

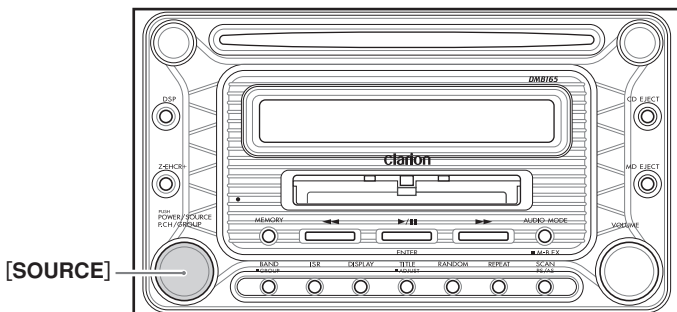
マニュアルでシステムをチェックします。

1 設定項目の選びかたの手順で、「**SYS CHECK**」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶/||)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックが完了すると、元のモードに戻って再生をはじめます。

外部機器を操作する



携帯用オーディオを聴く(AUX)

本機に市販のヘッドホンステレオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 [SOURCE]ノブを押して、AUXを選ぶ

→押すたびに、ソースが変わります。
AUXになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

■入力レベルを調整するには…

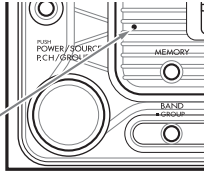
「携帯用オーディオの入力レベルを設定する」(35ページ)をご覧ください。

■AUX入力の接続のしかた

本機のAUX入力RCAピンコードへ市販のコードを使用して、携帯用オーディオを接続してください。

故障かな？と思われたら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

	現象	原因	処置
共通	電源が入らない (音が出ない)	ヒューズが切れている	入っていたのと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押ししてください。  リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消えますので、もう一度設定し直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作しています	音量をもう少し絞ってご覧ください。 電源を再投入する事で、音声出力は復帰します。 スピーカー保護回路が動作した場合は自動的にボリュームが絞られます。再度、短時間で音が出なくなる場合は相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。
CD	音がない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気が多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
MD	MDを入れても音がない、またはMDがすぐ出してしまう	MDを間違った向きに入れている	MDの印刷面を上にして、シャッター板を右側にして入れてください。
	MDが入らない	本機の中にMDが入っている	イジェクトボタンを押してMDを取り出してください。
	MDがイジェクトできない	極端な電源変動などによる誤動作または機構の誤動作	リセットボタンを細い棒などで押しってください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示について」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原因	対処方法
CD	ERROR2	ディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	CDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき ブランクディスク(無録音)を入れたとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。 録音されているディスクと交換してください。
MD	ERROR2	MDメカが故障しているとき	MDメカニズムの故障とされます。お買い求めの販売店または弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないとき	傷のないMDと交換してください。
	ERROR H	MDメカの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたとき	MDメカの温度が下がるように、まわりの温度を下げてください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕 様

■CDプレーヤー部

周波数特性 : 5Hz~20kHz±1dB
SN比 : 100dB
ダイナミックレンジ : 95dB
高調波ひずみ率 : 0.01%

■MDプレーヤー部

周波数特性 : 20Hz~20kHz
SN比 : 90dB
ダイナミックレンジ : 85dB
高調波ひずみ率 : 0.01%(1kHz)

■FMチューナー部

受信周波数 : 76.0MHz~90.0MHz
実用感度 : 9dBf
50dBクワイティンク感度 : 15dBf
SN比 : 70dB
周波数特性 : 30Hz~15kHz±3dB
分離度 : 35dB(1kHz)
高調波ひずみ率 : 0.3%(1kHz)

■AMチューナー部

受信周波数 : 522kHz~1,629kHz
実用感度 : 28dBμV
SN比 : 50dB

■AUX部

入力感度 LOW : 2.1V(2V出力時)
MID : 1.3V(2V出力時)
HIGH : 650mV(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力 : 17W×4(20Hz~
20kHz、1%、4Ω)
最大出力 : 50W×4
適合インピーダンス : 4Ω(4Ω~8Ω)
2バンドEQ
BASS(60/100/200Hz)
: +15dB、-15dB
TREBLE(10k/15kHz) : ±12dB
マグナベースEX : +10dB(50Hz)
(音量ステップ14)
ラインアウト出力レベル : 1.8V(CD1kHz)

■Zエンハンサープラス/DSP部

エンハンサープラス(5モード)
: BASS BOOST
IMPACT
EXCITE
USER CUSTOM
Z-EHCR+ OFF
DSP(5モード) : STADIUM
HALL
CLUB
CHURCH
L-ROOM
DSP OFF

■共通部

電源電圧 : DC14.4V
接地方式 : マイナス接地
消費電流 : 3.0A(1W時)
ヒューズ定格 : 15A/3A
外形寸法 : 178(W)×100(H)×
184.5(D)mm
(取付寸法 : 156.5(D)mm)
質 量 : 2.15kg

■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 8本
- サラネジ(M5×8) 8本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーション
の米国及び外国特許に基づく許諾製品

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

なお、弊社サービスセンターから代替品(リンク品)を直接取り寄せる『ダイレクトエクステンジシステム』を取扱っている販売店がございます。

修理納期の短縮等、お客様にとって魅力あるサービスシステムとなっておりますので、販売店へご確認ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
Clarion ホームページ <http://www.clarion.com>

お問い合わせはお客室相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

(9:00~12:00・13:00~17:30/土・日・祝祭日を除く)

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

*お客様へ…ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。